

整形外科Ⅱ		講義	客員教授 可知 芳則	
科目カテゴリ	救急救命士コースの専門分野科目 柔道整復師コースの専門分野科目	科目ナンバリング	12321202	

1. 授業のねらい・概要

整形外科Ⅰで学んだ内容を発展させ、代表的な疾患の病態や診断に至る過程、治療法を理解することで最適な対処方法を導くためのプロセスを学び、より普遍的に応用できる考え方を身につけていく。

2. 授業の進め方

9月24日、10月8日、10月22日、11月5日、11月19日、12月3日、12月17日、1月14日に授業を行う。

3. 授業計画

1. 整形外科の重要疾患	9. 骨盤骨折・脊椎外傷
2. 腰背部痛の診かた	10. スポーツ外傷 1 フィールドでの緊急事態
3. 腰椎椎間板ヘルニア	11. スポーツ外傷 2 代表的整形外科疾患
4. 腰部脊柱管狭窄症	12. 変形性関節症
5. 骨粗鬆症性骨折 1 総論	13. 関節リウマチ・代謝性疾患
6. 骨粗鬆症性骨折 2 各論	14. 整形外科手術の実際
7. 骨粗鬆症の病態と治療	15. 総合演習
8. 小児の骨折	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

既に学んだ解剖学を適宜復習して授業に臨むのが望ましい。各回の復習をしっかりと行うこと。
準備ならびに復習に週3時間程度を見込む。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験施行後に履修獲得不十分な場合、個別レポートにより整形外科Ⅰの範囲について知識の固定化を図る。

6. 授業における学修の到達目標

救急救命士または柔道整復師となるために必要な整形外科の知識を十分に獲得していること。

7. 成績評価の方法・基準

多肢選択式/記述式のテストもしくはレポート（70%）と平常点（30%）を加味した総合評価を行う。
100点満点で60点以上を合格とする。

8. テキスト・参考文献

改訂第10版救急救命士標準テキスト
適宜指定する資料

9. 受講上の留意事項

授業には能動的に取り組み、討論や質問に際しては積極的に発言すること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当有無

該当する。本授業は、病院における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。